

総合診療科

● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 平山 陽示
 医局長 川上 浩平
 病棟医長 赤石 雄
 外来医長 織田 香里

医師数 常勤 12名
 非常勤 17名

● 診療科の特徴

専門各科宛での紹介状のない、どの科を受診していいかわからない方（15歳以上75歳未満）を担当し、必要に応じて専門各科に相談あるいは紹介する。また、良くある疾患は当科で診療も行なっている。

具体的には以下のような患者を診察する

- ・ 診断がついていない
- ・ かぜ症候群、肺炎、軽度の腹痛
- ・ 色々な病気が複雑に絡み合っている患者
- ・ 健診で異常を指摘されたが、どの科に行けばいいかわからない
- ・ 他院、他科で診断がつかない

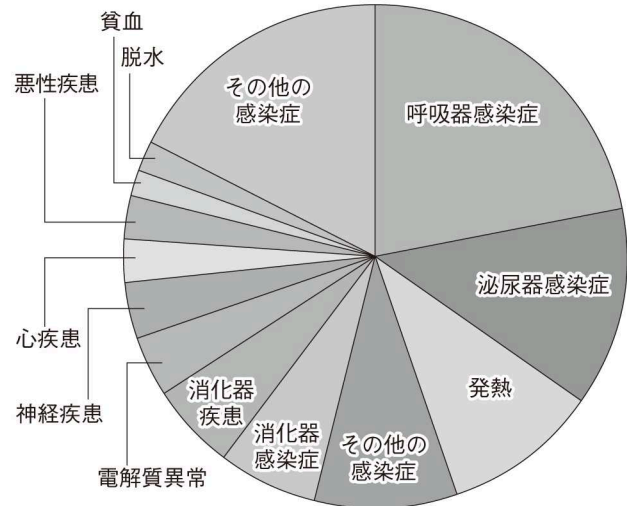
● 診療体制と実績

外来では、消化器、呼吸器、循環器、筋骨格筋系の患者を診察することが多い。消化器疾患としては逆流性食道炎、機能性ディスペプシア、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、憩室炎、虫垂炎など、呼吸器系疾患としては肺炎、気管支炎、副鼻腔炎、感冒、気管支喘息、咳喘息などを診療した。以下に初診患者数の月別の推移を示す。入院は平成28年度ののべ患者数は108人で、市中肺炎などの呼吸器系感染症、腎盂腎炎などの泌尿器感染症、発熱患者、その他原因の特定できない非特異的感染症などが多かった。その他にも髄膜炎などの神経疾患、悪性リンパ腫を始めとする悪性疾患など幅広く診療し、各科と連携しながら行っている。

アピールポイント

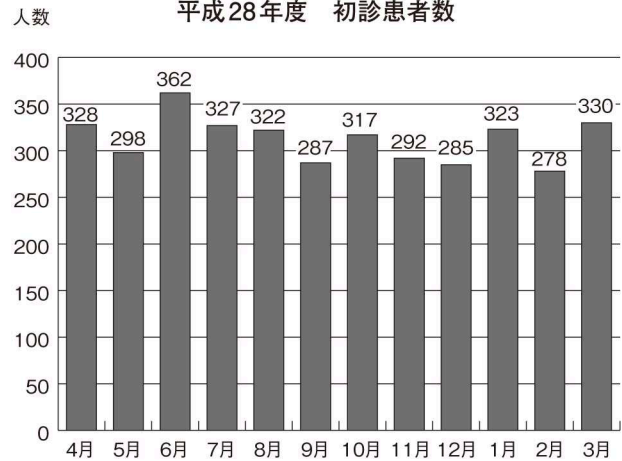
他の病院で原因が分からなかった発熱の患者など、診断困難な症例を診察している。大学病院の総合診療科としては豊富な初診患者を診ているが、選定療養費の増額の関係もあり近年低下傾向でもあり、上記のような患者がいた場合、ご紹介いただきたい。

平成28年度 入院内訳



医事課調べ

平成28年度 初診患者数



医事課調べ